

総合工学委員会分科会の設置について

分科会等名：エネルギーと科学技術に関する分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	総合工学委員会
2	委員の構成	30名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>世界のエネルギー需要は今後も増大を続けると想定されている。世界のエネルギー需要の80%程度が化石燃料によってまかなわれており、二酸化炭素を中心とする温室効果ガス濃度の大幅な上昇により、地球温暖化を引き起こしている。温室効果ガスの濃度を安定させるには、費用対効果を考慮しつつ幅広いエネルギーシステムを選択や省エネルギーなどが必要である。地球温暖化対策に加えて、わが国ではエネルギー供給の安定性の確保や安全性についての国民の信頼も必要である。このための戦略立案や政策実施には、自然科学、工学技術、社会科学、医学、人文科学、政府、実業界、経済界など、様々な分野の専門家による俯瞰的な視野と知恵の結集が必要である。中でも学術的視点からの議論は極めて重要である。</p> <p>本分科会は20期から設置されており、科学技術と環境・エネルギーほか幾つかの個別重要テーマについて、科学技術の学術的視点から取り上げ、シンポジウムを開催し、報告や記録という形で取りまとめてきた。</p> <p>今期は、これまでの議論や検討をさらに継続・発展させ、多様な課題について問題点を抽出・分析し、提言や報告のとりまとめを行う。具体的には下記の課題について議論を行う。</p>
4	審議事項	<p>1. エネルギー供給・利用 (貯蔵・輸送、省エネルギーを含む)</p> <p>2. CO<sub>2</sub>対策</p> <p>3. その他関連する諸問題に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	令和2年10月29日 ~ 令和5年9月30日
6	備考	※事実上24期より継続